

担い手の経営のライフステージに応じた支援

(5) 「ふくしま若旦那プロジェクト」交流会開催

農林中央金庫 福島支店（福島県）

新規	継続
○	(年 月)

1 動機(経緯)	<p>農林中央金庫 福島支店は2017年4月に「農業者と観光事業者の連携により宿泊者を通じて県産農産物の「安全・安心・美味しい」をPRする、宿泊者を対象に農業体験や農産物の加工体験を行うことで観光客の入り込み数増加と滞在長期化を促進し、地域活性化に貢献する」といった仮説を立て、A社と「ふくしま若旦那プロジェクト実行委員会」のビジネスマッチングを目的とした両団体の交流会開催を支援しました。</p> <p>交流会当日は、参加した会員同士が連携の在り方について意見交換を行い、連携企画第1弾として、両団体のメンバーを取り上げるフリーマガジン「若旦那図鑑」の発行を決定しました。</p>
2 概要	<p>本交流会では、その「若旦那図鑑」の新刊披露と合わせて、Bフランス料理店（いわき市）オーナーシェフと調理人である若旦那3人が、A社提供の食材を使った料理をそれぞれに考案し、今後、各旅館での提供について検討を行いました。</p> <p>また、福島支店から、食農ビジネスにおける取組みや両団体が連携するに至った経緯（金庫コーディネート）について紹介、情報発信を行いました。当日は、福島民報・福島民友・福島放送・テレビユー福島の計4社のメディアが取材のため来場しました。</p>
3 成果(効果)	<p>A社が生産した食材を宿泊者に提供する動きや、宿泊者が旅館からA社の農産品（贈答品）を注文できる体制が整備されるなど、本取組みについては一定の効果があったものと考えています。今回の連携を契機に、両団体の連携がより一層深まることを期待するとともに、本取組みを優良事例として、今後も県内で有するさまざまなネットワークを活かしながら、農林水産業者と産業界の架け橋として、両者の抱えるさまざまな課題へ対応し、農林水産業の成長産業化や取引先の成長・発展に一層貢献していきます。</p>
4 今後の予定	<p>今回の連携を契機に、両団体の連携がより一層深まることを期待するとともに、本取組みを優良事例として、今後も県内で有するさまざまなネットワークを活かしながら、農林水産業者と産業界の架け橋として、両者の抱えるさまざまな課題へ対応し、農林水産業の成長産業化や取引先の成長・発展に一層貢献していきます。</p>

【考案した料理を披露する様子】



【農林中央金庫 福島支店の取組み紹介の様子】

